

自動現像機メンテナンスガイド



自動現像機をいつも良好な状態で稼働させるため、取扱説明書に記載の日常のお手入れを実施してください。それらに加えて、必要に応じて下記のメンテナンス作業を実施してください。

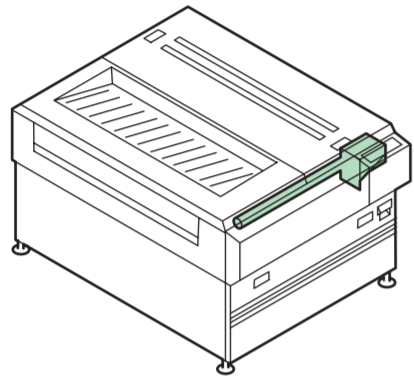
対象機器

LP-940HII、XP-940R、LP-940NEWSII
LP-1310HII、XP-1310R、LP-1310NEWSII

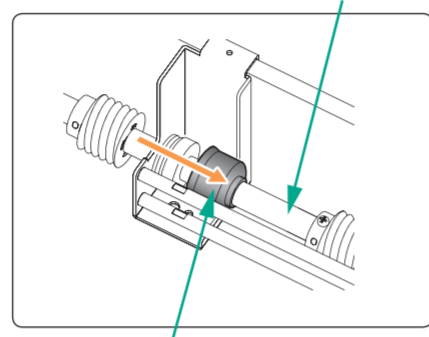
1 駆動軸スラストベアリングへの注油

一年周期で行ってください。

1 カバー/浮蓋/ローラー/ガイド/ラック側板を取り外す



2 ① 駆動軸 シャフトを矢印方向に寄せる
② スラストベアリングを覆っているカバーを矢印方向にずらして外す

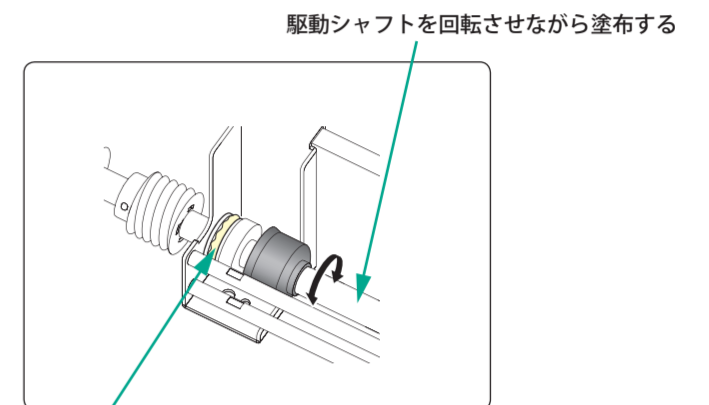


3 スラストベアリングを広げ、中央のボール部の両側にグリースを塗布する
※ つまようじなどを利用すると、きれいに塗布できます。



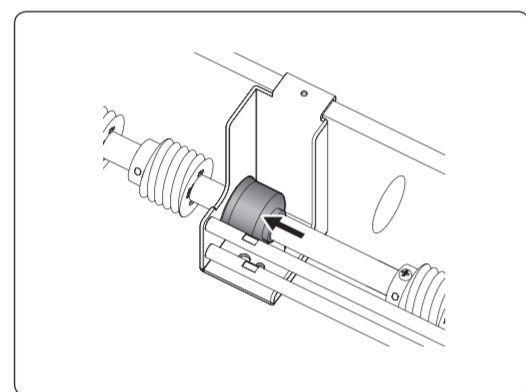
指定グリース
部品番号：891G02003A
「サンコールLEN-317F」
(サンケイ化学)

※ スプレー式潤滑剤は処理タンク部材の破損の恐れがあるので使用禁止

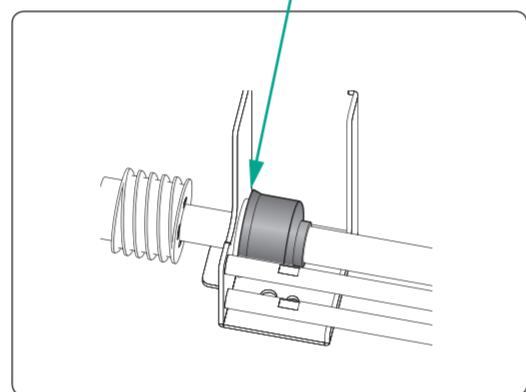


スラストベアリングを広げ、内部にグリースを塗布する。
※ボール部の両側にたっぷり(約4cc)塗る

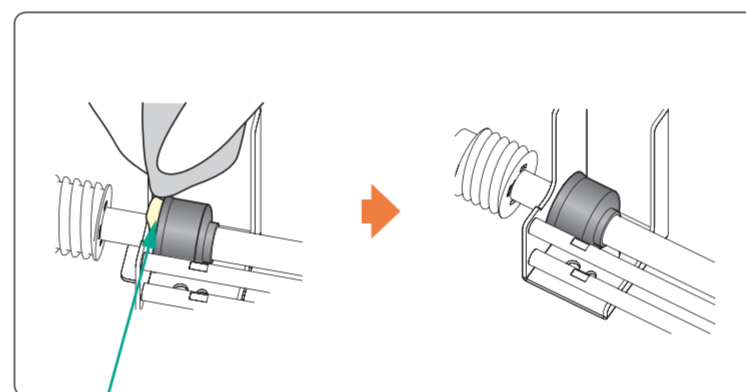
4 カバーを矢印方向に寄せ、スラストベアリングに被せる
※ カバーはブラケットに密着させず、スラストベアリングの座金1枚分の隙間を空けて、被せる



ブラケットに密着させる

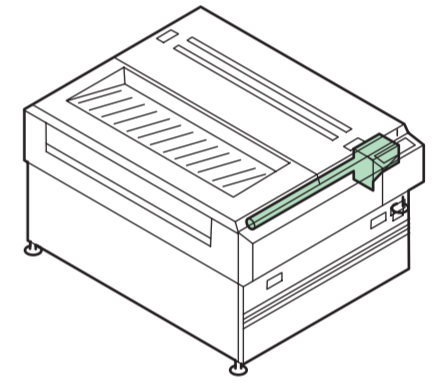


5 カバー取り付け後に、はみ出たグリースを拭き取る
※ タンクにグリースが付着した場合、確実に除去する



はみ出したグリースを拭き取る

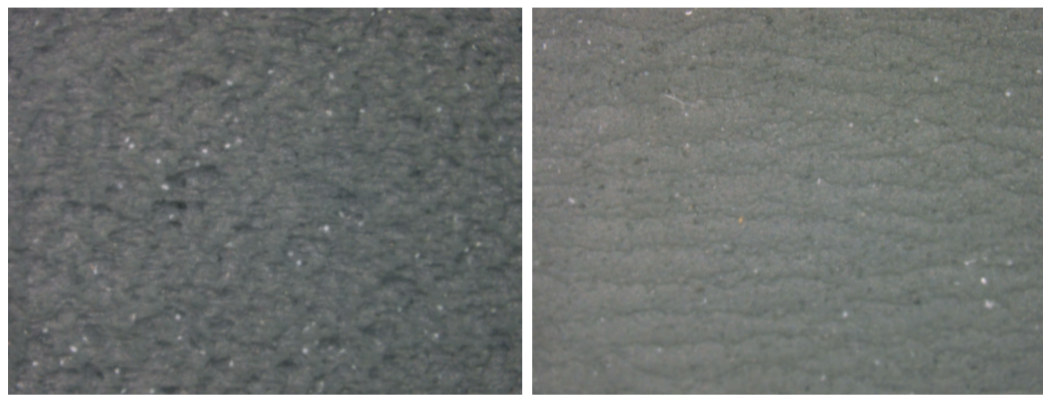
6 ① で取り外したラック側板/ローラー/ガイド/浮蓋/カバー



2 ローラーの清掃

ローラー表面が、悪化すると汚れの原因になる可能性があります。

ローラー表面



NG (交換要)

OK

▶ 道具

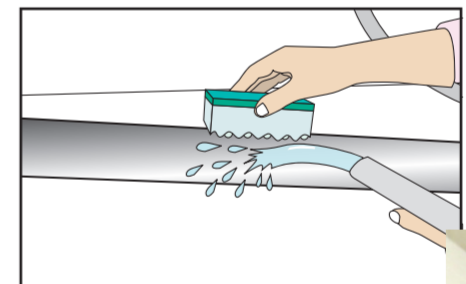
スポンジ (やわらかいもの)

重要 たわしや、乾いた布は使用しないでください。ローラーを傷つける恐れがあります。

▶ 洗剤

クリームクレンザー「ジフ」(ユニリーバ)
特に汚れがひどいとき以外は必要ありません。

重要 上記以外の洗剤や溶剤(シンナーなど)は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。



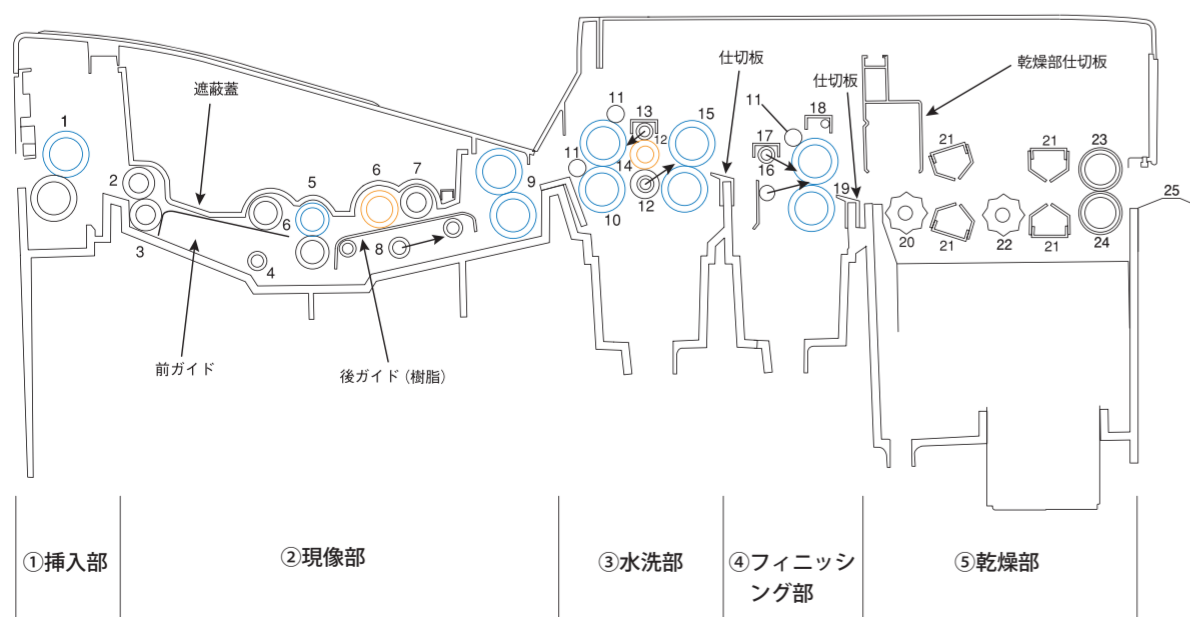
クリームクレンザー「ジフ」を用いてローラーを水洗いする

ローラー清掃は、必ず流して実施し、自現機内では行わないでください。



3 定期交換を推奨する部品

以下の表は、定期的な交換を推奨する部品の一覧です。正常な動作を維持するため、所定の時期での交換を推奨します。交換はお買い上げの販売店やサービスエンジニアにご相談ください。



※ 両側板上部にゴムローラー番号が刻印されています。

部品種別	交換周期 (推奨)	XP-940R LP-940H II LP-940NEWS II	LP-1310H II	XP-1310R	LP-1310NEWS II	参考写真 (一部)	
左イラストのローラー番号参照	ブラシローラー	2年毎 or 42,000m ²	6	6	6,14	6	
	ローラー	2年毎 or 55,000m ²	—	—	—	5,9,10,15,19	
		3年毎 or 63,000m ²	5,9,10,15,19	—	—	—	
		3年毎 or 82,000m ²	—	1,5,9,10,15,19	1,5,9,10,15,19	—	
		5年毎 or 100,000m ²	1	—	—	1	
歯車軸受Oリング	2年毎 or 42,000m ²	○	—	—	—		
	2年毎 or 55,000m ²	—	○	○	○		

※ 歯車にはハスバ歯車を、軸受けにはすべり軸受けを含みます